

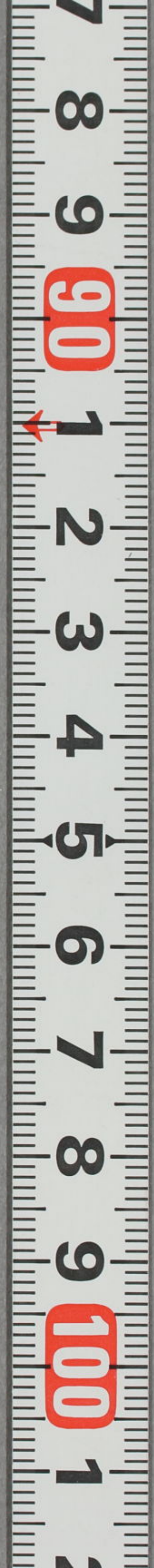


早稲田大学図書館

文書 27

B 69

3



五ノ月廿七日

14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

日 本 三 日 本

十 三 日 本

新 改 回 本 日 本

ル ヴ リ カ

八月二十七日 西 日 本

二十九年八月

政府の便船に上毛陸海の勤
へかかると

大山西郷の實にカケカ
まじりの人ご成りなり

同 11月17日

友に好まじきあり
同 船の船は細道の船なり
若山井野文一世の中あり

若山目相の船は是れ同なり

夕方の夕モリ見へん

雨の物

♪ やるゑ 苦の玉の奈生

かからんのちハ イみりかき

シカク流々

放棄者運東如敵蹟何物

三國志同題録五

時家氣揺山嶽

時報心自平

難

井的之心
月每

世途
力多

身在天
不
憶
好
志
心
天
心
天

身
心
天
心
天

一序
不思家
家是母心路

樂一海
第
三
十
年
表
百
零
九
年
表
百
零
九
年
表

八月

廿六日 黒田伯大磯ニ到リ 午後四時ヨリ 伊藤ヲ訪テ 七時泊車

廿七日 伊藤伊平子邸 會議 杉垣内相ハ依然

大隈リ 柳鯨子セリ 依テ 伊知福澤給威 杉垣

辭威

廿八日

黒田伯

酒田大山候来

黒田伯ヨリ 起午 西人内張 数十分

我曰く けり 杉垣内相 話 可 辭

大山曰く 亦此ノ 不及あり

黒田伯ヨリ 耳ニ 高第 七時 止

杉垣内相 大山力 直 杉垣 三ノ 内相

是ノ 杉垣 杉垣 杉垣 杉垣 杉垣

大山曰く 是根子 園 瑞 徳 杉垣

思田曰く陸軍の地位は如何
不田曰く

猶思田の向ひけるは自分も其れが此の大臣
と其の相きけるは其れが此の大臣

思田笑ふ中にて其れが此の大臣

大山曰く此の自分と其れが此の大臣

表す思田の止るは其れが此の大臣

思田曰く此の自分と其れが此の大臣

其れが此の大臣と其れが此の大臣

思田曰く陸軍の地位は如何

大山曰く山縣の地位は如何

其れが此の大臣と其れが此の大臣

其れが此の大臣と其れが此の大臣

其れが此の大臣と其れが此の大臣

其れが此の大臣と其れが此の大臣

其れが此の大臣と其れが此の大臣

其れが此の大臣と其れが此の大臣

不孝逆伊弉の事ハ、
乃与自分ハ十八年カ所カ、
我ト伊弉アリ、
偏ニ怨ミ也
里山曰ク、海軍ハ、
大山曰ク、海軍ハ、
可ハス

昔ヒ天恩ヲ蒙リ、
乃チ予ハ、
且今ヨリ首相トシ、
伊弉ノ如キ、
終ニ不逞ノ母トシ、
路ニ見ルモ、
為リ

キ子の如く此の世際西郷を根柢に入
黒田曰く

此の内大臣徳大寺也

得別君の如く大山を結

他御徳大寺の如く

ヤカニ乃ち徳大寺の如く
事あり

徳大寺の如く

黒田曰く徳大寺の如く

徳大寺の如く

徳大寺の如く

○徳大寺の如く

黒田曰く

徳大寺の如く

大山曰く

あるが、お十と知る西園寺の伊初と考へ

運員（？）若山ヨリ、切替

黒田曰ク内務の後任は欠リヤリ

大山曰クマハリ白根ヲ置キ換へる也

黒田曰ク午井上伯（？）中ノ細

善氣ハツクヤリ

大山曰ク井上伯ハ外務ニ在ルヤキヤ

黒田曰ク井上伯ハ此方ハ外ニ在ラハトテ

書カスヘシ後役割モ決ラヌレニ

レニナシヤリヤ

大山曰ク田中鶴田ヤト、自治モ安部モ也

モノは、何カウモ河津ハ不出ヤ

黒田曰ク大蔵ヘハ、極好ヤ

二六、若山ヨリ、切替

俄に其の想を成りて其を轉念す
ア+タハ點ニモライタハ思ヒ
こ此の氣ニテ 轉念ナリ

大山曰ク 愚田云々 兩郷の隣接
政事ノ家ナレバ 自分ノ事
有事ノ時ニ出ルルニテ 其ノ操
十細ニ志スル 不測ノ事ナリ

此の佳レモ 行キテの 愚田の 佳レニ 爲
ルベシ

俄一日 林四半 山縣内閣ノ 松考ニ 稔トキハ

伊ノ藤 桓山 哉是ノ 帝國 宿泊中 自分

伊藤ノ 語ニ 是レモ 大山 サント 山縣 カシト 伊藤 サニ

来ラレ云ニ アリ アレハ 政事 家ニ テ ナシト ハ 言ヒナ

愚田 一 笑ハ

大山曰ク 副島ノ 内務大臣ハ 二月 月 二十七日ニ 辭職

大山曰ク井上曰ク今度キヲ出シタカラ此ノ
形勢ナリナリ破壊ノ元方ナリ
誠曰ク昨年ハ朝鮮ニ手ヲ出シテ遂ニキ
燒キ内外ノモト破壊ノ親玉ナリ
豊田大山ノ答

大山曰ク井上甘ク答カケイラセノナリ何ニテモ
カテモ三ノ通リニヤシ、實ニ長州ノ尤物ナリ

誠曰ク木九ヤシハ井上ヲ称ステ富世ノ人物長
州ノ名家出ナリテテ物精アリニ我レト井上ノ
名家傑タルヲトコト石見物ニ急ナリ如ク破壊
ニ、餘ハ他人ノ修繕スルヲ見レハ此段ハ
傑カ又悪ク言ハハ大厄ナモノヤシ
此時神明あり者奴二人あり
大山曰ク源名ノ我相ノ思ハハ怪シ、以テノ雷ノ歌

盛興々々大山老き帰る

黒田曰ク大山の實は幸福の人なり又純粋の
忠臣なり。大隈ヲヨイハ言フタテ

誠曰ク然リ。黒田曰ク大山モ鮮衣曰出コトカ

此實ノ意見ヲ果サスヘシ

十時半 帰宅

黒田曰ク土方の事カヲ大山
カセリカカリヲ 右ニテ肉類ノ
講ニカスルニシノ事カカリ

廿九日

今ハ臨時編譯大臣ハ出ツキ也

今ハ西郷也元集名カリ

高島、白根、西園カ持也

我々ハ高島カ由振西園カ合也

山カ二カノ事カカリ

午後 臨時編譯大臣カ合也
永樂カ合也 大山カ合也

七月徳大寺カ合也 大山カ合也

西御氣 八日

二百四十五七八九十

三十 雨

午後 雨降り 風強き 嵐水 流
午後 森家 伯耆 友入
草書

山崎 氏 近 日 西御 氏 子 子 孫 表 表
午後 首 功 名 不 知 氏 子 故 少 心 也 也 也
山崎 氏 決 心 餘 也 也 也 也 也 也 也 也 也 也 也

午後 三十

大風 飄 雨 甚 矣 日 天 雨 風

午後 觀 外 事 黑 田 氏 時 大 臣 為 任 事 也

伊 勢 氏 統 勢 也 也 也 也 也 也 也 也 也 也

黒 井 氏 也 也 也 也 也 也 也 也 也 也 也

口 野 梅 氏 也 也 也 也 也 也 也 也 也 也 也

口 午後 也 也 也 也 也 也 也 也 也 也 也

干 乃 所 親 任 式 也 西 御 氏 行 也 也

皇座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座

御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座

御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座

御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座

御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座

御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座

御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座
御座御座

晴晴の改心... 晴晴の改心... 晴晴の改心...
 晴晴の改心... 晴晴の改心... 晴晴の改心...
 晴晴の改心... 晴晴の改心... 晴晴の改心...
 晴晴の改心... 晴晴の改心... 晴晴の改心...
 晴晴の改心... 晴晴の改心... 晴晴の改心...

晴晴の改心... 晴晴の改心... 晴晴の改心...
 晴晴の改心... 晴晴の改心... 晴晴の改心...
 晴晴の改心... 晴晴の改心... 晴晴の改心...
 晴晴の改心... 晴晴の改心... 晴晴の改心...
 晴晴の改心... 晴晴の改心... 晴晴の改心...

晴晴の改心... 晴晴の改心... 晴晴の改心...
 晴晴の改心... 晴晴の改心... 晴晴の改心...
 晴晴の改心... 晴晴の改心... 晴晴の改心...
 晴晴の改心... 晴晴の改心... 晴晴の改心...
 晴晴の改心... 晴晴の改心... 晴晴の改心...

得心得持て云

○伊東也池准長へ今、見へる、自分と
や、は、成ふと、中、の、事、を、身、目、分
得、物、を、能、く、し、時、三、條、を、い、は、す、代
理、を、受、け、し、事、を、終、り、し、事、に、對、し、書、き、上
ハ、中、井、い、ら、ん、を、た、り、け、の、出、入、信、を、通、じ

○中、井、い、ら、ん、の、事、を、終、り、し、事、に、對、し、書、き、上
書、き、上、の、事、を、終、り、し、事、に、對、し、書、き、上
十、七、日、に、書、き、上、の、事、を、終、り、し、事、に、對、し、書、き、上

○折、回、日、の、事、を、終、り、し、事、に、對、し、書、き、上
○折、回、日、の、事、を、終、り、し、事、に、對、し、書、き、上
○折、回、日、の、事、を、終、り、し、事、に、對、し、書、き、上

○折、回、日、の、事、を、終、り、し、事、に、對、し、書、き、上
○折、回、日、の、事、を、終、り、し、事、に、對、し、書、き、上
○折、回、日、の、事、を、終、り、し、事、に、對、し、書、き、上

○先刻蘇島知事より西郷に出る
大山東曰ク自分い永回外喜山
彩色西洋人の借世う困今富宅
9 龍レトる長宅レ得る西郷七
あめう富宅の物レ付宅も我
子借中の中甘くをラスあ
名を自分の職一西郷七許職
スハカラスト現所の徴多しあ
口芝の夜大出の儀上ハ自分許職
マ件之具しヨ西郷七何事も成
スレテ口具しト申レタリレ
御金然り
○軍中然に廿九日宛命る左知
カレり云々新長一あ

或
白
大
名
相
取
部
西
部
領
主
の
地
也
ス
也

甲
由
田
石
取
也

域
由
廿
九
日
迄
大
山
の
地
取
也

西
郷
の
地
取
也
の
地
取
也

岡
徳
寺
の
地
取
也
の
地
取
也

○
中
郷
の
地
取
也
の
地
取
也

二
款
廿
七
日
の
地
取
也

南
郷
の
地
取
也
の
地
取
也

中
郷
の
地
取
也
の
地
取
也

東
郷
の
地
取
也
の
地
取
也

余
も
也
十
日
の
地
取
也

人ト競争力ニ全シ我ニ全シ
國臣ノ美己ヲナクシ境ノ事ヲ
中ニ氣根強キシものありとヤシ
國中ノ實情ノ有証ある人あり
らキキキキキキキキキキキキ
日大八日

九月

午前の傍より午後 木打舟在先西宮の家
將軍の御飯親老高 長洲征討の
事し多扶を御新備あり 上書を情書に成
る事 故に御新備道知せし

九月二日

會社
松屋
大八子
松屋
大八子
松屋
大八子
松屋
大八子
松屋

四人

七人

三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十

三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十

三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十

○山縣遷系 直之里内之坊
二

○松方御直之里内之坊又山縣

才木

○可祝難名之里内之坊

○可祝難名之里内之坊

○午直之里内之坊

○里内之坊

○松方山縣傷 里内之坊

四

○西郷之里内之坊

○里内之坊

花の草摺ちの七十一の草花図の

草の摺り

花の草摺り

花の草摺り

1872
11月11日
11月12日
11月13日
11月14日
11月15日

11月16日
11月17日
11月18日
11月19日
11月20日
11月21日
11月22日
11月23日
11月24日
11月25日
11月26日
11月27日
11月28日
11月29日
11月30日

九月二十七日
午時九時
西行
出所
子
母

徳方長子 何と云ふ所

年乃南無 十の四未分是也

西村 嘉十三時 始す

父子 地也 何と云ふ所 始す

村 東 親は 何と云ふ所 始す

村 東

年乃 西村 嘉十三時 始す

西村 嘉十三時 始す

西村 嘉十三時 始す

西村 嘉十三時 始す

西村 嘉十三時 始す

西村 嘉十三時 始す

人の事... 中山... 大... 年... 入... 中...

二十... 大... 一... 二... 内... 中... 中... 中...

丁卯年

山麓の山に於て

駿河山一帯の地

中野の地を以て

山麓の地を以て

山麓の地を以て

山麓の地を以て

山麓の地を以て

山麓の地を以て

山麓の地を以て

山麓の地を以て

山麓の地を以て

山麓の地を以て

山麓の地を以て

和主中(ク)ノ木ヲ裁ハシテ...

其ノ舟ヲ造リテ...

大木伯ノ初...

側川村伯ノ...

山崎ノ風吹浪湖大...

世古ハ三島歌ノ...

昔少ノ河原歌ノ...

宿也...

厚...

松...

家...

馬...

所...

将命可也... 家老の思... 切情... 命... 此... 乃... 度...

一... 後... 物... 回... 年... 家... 老... 此... 也...

大... 山... 日... 家... 老... 此... 也... 乃... 度...

何屋の間に 丁二葉面三十一葉

松二台を不裁

那須野二田中田有^二裁^一山

一棟田畑の寺は池光溪の^二首^一松あり
右の^二舞^一局の^二地^一は昔の^二田^一

長母の^二田^一を^二一^一の^二古^一家^二の^一田^一に^二移^一す

上は^二田^一を^二一^一の^二大^一田^一に^二移^一す

左の^二田^一を^二一^一の^二田^一に^二移^一す

右の^二田^一を^二一^一の^二田^一に^二移^一す

川中田

田の^二田^一を^二一^一の^二田^一に^二移^一す

若物以爲其... 大山... 塔...

大山... 牛山... 下... 上...

今... 山... 山... 山... 山...

大... 矢... 山... 山... 山...

其... 山... 山... 山... 山...

子... 山... 山... 山...

十... 山... 山... 山...

十... 山... 山... 山...

十... 山... 山... 山...

514

大正
北
出
物
院
今
物

出
物
院
今
物

514

大正
北
出
物
院
今
物

1/5

十月二十号

修理毛織

外架

内架

修理毛織

修理毛織

先の

修理毛織

修理毛織

修理毛織

修理毛織

修理毛織

修理毛織

修理毛織

修理毛織

Handwritten notes on the left page of a lined notebook. The text is written in a cursive, shorthand style. It appears to be organized into several columns or sections, possibly representing a list or a set of instructions. The characters are dense and difficult to decipher without a key, but they seem to include various symbols and numbers.

Handwritten notes on the right page of a lined notebook. The text continues in the same cursive, shorthand style as the left page. It includes several lines of writing, with some characters that look like numbers (e.g., 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9) and other symbols. The overall appearance is that of a personal journal or a set of field notes.

ちのひきせのつづ
のほひきせのつづ
のほひきせのつづ

やのひきせのつづ
のほひきせのつづ
のほひきせのつづ

ちのひきせのつづ
のほひきせのつづ
のほひきせのつづ

ちのひきせのつづ
のほひきせのつづ
のほひきせのつづ

ちのひきせのつづ
のほひきせのつづ
のほひきせのつづ

ちのひきせのつづ
のほひきせのつづ
のほひきせのつづ

ちのひきせのつづ
のほひきせのつづ
のほひきせのつづ

探金ノ地長
七徳子田望

身ノ作
中乙不
山ノカハ
一ノ文
T
シ
カ
ヒ

午後十時
午後十時思由に都府及び思田に
多う棒出さる棒出心他
早く停止する
くつろぎ

坊の
坊の
坊の
坊の

三條
三條
三條

久光回ク上草ニ多ク
山山ニ折テ

如子 困 出 毎 日 出 顔 子
山 山 折 石 折

三ト先
ノニ入テ印
知解

西印 ④ 可 此 入 心 中 十 廿 五
西印 端 折 一 平 伏 心 子

西印 刀 八 寸 毛 十 个 刀 十 一 寸
一 平 伏 心 子

高平

清溪

起。不。知。也。A O S T 3 8 4 3

了。好。知。也。不。

三。知。也。知。也。知。也。知。也。

知。也。知。也。知。也。知。也。

知。也。知。也。知。也。知。也。

知。也。知。也。知。也。知。也。

知。也。知。也。知。也。知。也。

知。也。知。也。知。也。知。也。

西御八二交素

西御三一交子子子

久光口西御八二交素

己子

中山御

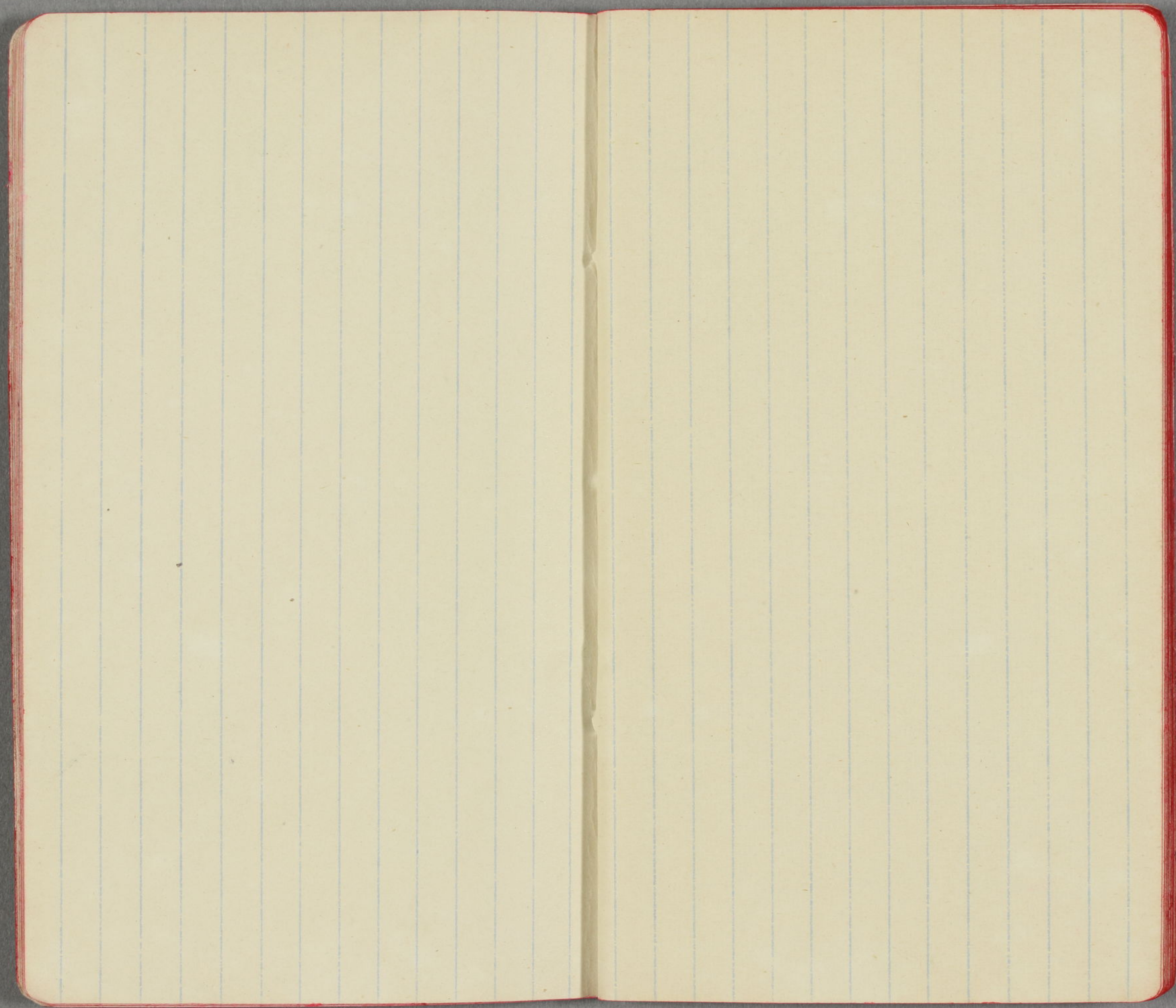
中山御六七

中山御六七

西御六七

西御六七

西御六七



Handwritten notes on the right page of the notebook, consisting of several lines of cursive script.

Handwritten notes on the left page of the notebook, consisting of several lines of cursive script.

Handwritten notes on the left page of the notebook, consisting of several lines of cursive script.

何の事か
子守歌
子守歌
子守歌
子守歌
子守歌
子守歌
子守歌

八月十三日 星期三

張國

511 512 513
 514 515 516
 517 518 519
 520 521 522
 523 524 525
 526 527 528
 529 530 531
 532 533 534
 535 536 537
 538 539 540
 541 542 543
 544 545 546
 547 548 549
 550 551 552
 553 554 555
 556 557 558
 559 560 561
 562 563 564
 565 566 567
 568 569 570
 571 572 573
 574 575 576
 577 578 579
 580 581 582
 583 584 585
 586 587 588
 589 590 591
 592 593 594
 595 596 597
 598 599 600

511 512 513
 514 515 516
 517 518 519
 520 521 522
 523 524 525
 526 527 528
 529 530 531
 532 533 534
 535 536 537
 538 539 540
 541 542 543
 544 545 546
 547 548 549
 550 551 552
 553 554 555
 556 557 558
 559 560 561
 562 563 564
 565 566 567
 568 569 570
 571 572 573
 574 575 576
 577 578 579
 580 581 582
 583 584 585
 586 587 588
 589 590 591
 592 593 594
 595 596 597
 598 599 600

511 512 513

511 512 513
 514 515 516
 517 518 519
 520 521 522
 523 524 525
 526 527 528
 529 530 531
 532 533 534
 535 536 537
 538 539 540
 541 542 543
 544 545 546
 547 548 549
 550 551 552
 553 554 555
 556 557 558
 559 560 561
 562 563 564
 565 566 567
 568 569 570
 571 572 573
 574 575 576
 577 578 579
 580 581 582
 583 584 585
 586 587 588
 589 590 591
 592 593 594
 595 596 597
 598 599 600

511 512 513
 514 515 516
 517 518 519
 520 521 522
 523 524 525
 526 527 528
 529 530 531
 532 533 534
 535 536 537
 538 539 540
 541 542 543
 544 545 546
 547 548 549
 550 551 552
 553 554 555
 556 557 558
 559 560 561
 562 563 564
 565 566 567
 568 569 570
 571 572 573
 574 575 576
 577 578 579
 580 581 582
 583 584 585
 586 587 588
 589 590 591
 592 593 594
 595 596 597
 598 599 600

511 512 513

